













新羽地区関係年表（調査中）

令和5年8月17日 現在				連合町内会										消防団		社協・民生	
西暦	和暦	年	出来事（横浜市、港北区、新羽地域周辺）	横浜開港（周年）	横浜市政（周年）	港北区制・新羽町（周年）	新羽町連合町内会（周年）	連合町内会長	新羽地区健康祭実行委員長	優勝町会	新羽サマーフェスティバル実行委員長	合同敬老の集い（回）	港北消防団（周年）	第七分団長（区本部長）※原則年度単位	新羽地区社会福祉協議会会長	新羽地区民生児童協議会会長	
1932	昭和	7	年 渋谷～桜木町間の東横線全線開通 大倉山精神文化研究所建設	73	43												
1933	昭和	8	年 3月 横浜の山下町消防署に救急車を初めて配備(東京では12月に日赤に配備)	74	44												
1934	昭和	9	年 慶應義塾大学予科、日吉に移転 4月 横浜税関新庁舎(クイーンの塔)竣工 5月 警友病院竣工(山下町)	75	45												
1935	昭和	10	年 復興記念横浜大博覧会が開催	76	46												
1936	昭和	11	年 11月13日方面委員令制定・公布(方面委員制度が全国統一の制度となる) 第4次市域拡張(人口738,400人・面積168.02km <sup>2</sup> )	77	47												
1937	昭和	12	年 第5次市域拡張(人口759,700人・面積173.18km <sup>2</sup> )	78	48												
1938	昭和	13	年 7月豪雨により鶴見川の堤防決壊、被害を受ける 鶴見川水害18,600戸浸水、亀の甲橋流される	79	49												
1939	昭和	14	年 4月 第6次市域拡張(人口866,200人・面積400.97km <sup>2</sup> )に伴い、戸塚・港北の2区を新設。(港北区(面積は全市域の約3分の1)) 4月 新田村は横浜市に合併され、学校も横浜市立新田尋常高等小学校となる この時、大字新羽の地域に新羽町が設置される	80	50	設置											
1940	昭和	15	年 大日本航空が横浜-サイパン-パラオ間定期航空路を開始	81	51	1											
1941	昭和	16	年 横浜市立新田国民学校となり、教科は終身、国語、歴史、地理、理科、体操、唱歌、書き方、図工、手工、裁縫。 大東亜戦争に突入 横浜線の直通運転開始(東神奈川～八王子)	82	52	2											
1942	昭和	17	年 港北区役所 菊名に竣工移転 菊名女学校開校 10月1日、東京、大阪、名古屋、神戸に次いで横浜市は人口100万人突破	83	53	3											
1943	昭和	18	年 中区の一部が南区になる	84	54	4											
1944	昭和	19	年 中区の一部が西区になる 市会は図書館へ、市庁舎は老松国民学校などの鉄筋コンクリート校舎に移転 海軍司令部慶應義塾大学日吉キャンパスに駐留 防空緑地として綱島公園開設 横浜・川崎・横須賀市で学童の集団疎開	85	55	5											
1945	昭和	20	年 5月29日 横浜大空襲で壊滅的被害(電車45両、バス53台焼失) 消防団は20団(加賀町、伊勢佐木、水上、山手、磯子、寿、大岡、鶴見、神奈川、川和、戸部、保土ヶ谷、戸塚、中和田、豊田、中川、本郷、川上、瀬谷、大正)8,932人となる。消防団は昭和22年5月消防団令が公布され改組されるまで存置する。勅令185号により消防団令が公布される 8月 ボツダム宣言を受け、日本が降伏する	86	56	6											
1946	昭和	21	年 日本国憲法が公布される。22年5月3日施行 昭和21年 5月31日 電気局を交通局に改称 民生委員令公布(方面委員を民生委員と改称)初めて民生委員任命 区選挙管理委員会発足 11/6全日本民生委員連盟(全民連)発足(全日本方面委員連盟を改組)	87	57	7											
1947	昭和	22	年 地方自治法が施行される。市長公選が行われる 教育基本法施行される 4/1横浜市立新田中学校創立 5/4新田中新田小学校に併設開校 児童福祉法公布民生委員は児童委員に 12月 法律第226号により消防組織法が制定され、これに伴って横浜市消防団条例(条例第41号)が公布される(施行は翌3年3月7日) 神奈川県で児童愛護班が結成(青少年指導員の前身) 港北区内で初めて市営バス開通 大倉山天然スケート場廃業	88	58	8											
1948	昭和	23	年 3月7日 港北消防団発足(1本部、5分団、24班 418人体制) 消防組織法が施行となり、これにより自治体消防が発足し、消防団は公設消防とともに横浜市に移り、横浜市消防団の第一歩がはじまる 当時の消防団設置数は、横浜市8行政区に13団(鶴見、神奈川、西、伊勢佐木、加賀町、山手、寿、大岡、保土ヶ谷、磯子、港北、川和、戸塚)7,809人体制で運営される 7月29日 民生委員法制定・公布、即日施行、任期は3年(民生委員令廃止) 磯子区の一部が金沢区になる 港北農協発足	89	59	9							発足				



新羽地区関係年表（調査中）

令和5年8月17日 現在				連合町内会							消防団		社協・民生			
西暦	和暦	年	出来事（横浜市、港北区、新羽地域周辺）	横浜開港（周年）	横浜市政（周年）	港北区制・新羽町（周年）	新羽町連合町内会（周年）	連合町内会長	新羽地区健康実務実行委員長	優勝町会	新羽サマーフェスティバル実行委員長	合同敬老の集い（回）	港北消防団（周年）	※原則年度単位 第七分団長（区本部長）	新羽地区社会福祉協議会会長	新羽地区 民生児童委員協議会会長
1949	昭和	24	港北区制10周年・新羽町設置10周年 「公的保護事務に於ける民生(児童)委員の活動範囲」(通知) (民生委員は保護実施の補助機関から協力機関に) 慶應義塾大学日吉キャンパス返還 港北保健所開設	90	60	10							1			
1950	昭和	25	全国に先がけて「横浜市健民体育指導員」制度が発足する。 神奈川県校外生活指導者が結成 民生安定所(現福祉保健センター)開設	91	61	11							2			
1951	昭和	26	民生委員信条制定 全日本民生委員連盟は、中央社会福祉協議会の発足への参加を決定 横浜港の管理権が国から市へ移る 横浜市人口100万人突破 港北消防署開署 港北区社会福祉協議会、港北区農業委員会発足	92	62	12							3			
1952	昭和	27	5月12日 バスのワンマンカー使用開始 10月1日 地方公営企業法施行。電車、バスとも企業会計による独立採算制となる 11月 磯子区が2分割され、磯子区を支持区域にしていた磯子消防団が2分割され、金沢消防団が誕生し条例定数も15人増員され、14団7,824人体制となる。	93	63	13							4			
1953	昭和	28	6月2日の開港記念日で、第1回国際仮装行列が実現	94	64	14							5			
1954	昭和	29	9月13日：土地改良事業に伴い、新羽町と新吉田町の境界を変更 篠原町で弥生式土器を発見	95	65	15							6			
1955	昭和	30	民生委員・児童委員協議会を組織 全国社会福祉協議会連合会を全国社会福祉協議会に改組 神奈川県青少年保護育成条例施行 横浜市子供会連絡協議会創立（12月）〈全子連登録〉 亀甲山を削って、新しい亀甲橋完成	96	66	16							7			
1956	昭和	31	横浜市が政令指定都市となる	97	67	17							8			
1957	昭和	32	文部省が「体育指導委員」制度の設置を奨励したため、横浜市は体育指導委員組織の拡大を図る。 横浜市子供会連絡協議会発会式(1/26)	98	68	18							9			
1958	昭和	33	9月狩野川台風で鶴見川水害 大竹は湖のように浸水 開港百年記念祭が行われる	99	69	19							10			
1959	昭和	34	港北区制20周年・新羽町設置20周年 7代目横浜市庁舎が関内駅前完成 子供の遊び場の確保を目的として全国に先がけ校庭の学校開放事業がはじまる。(15校) 開港100周年(1959年)より、横浜市立の学校は休校日となる	100	70	20							11			
1960	昭和	35	神奈川県子ども会連絡協議会として発足。事務局を横浜市港北区篠原台町の県立国際少年少女会館内に設置。 港北郵便局開局 港北区総合庁舎(菊名)落成	101	71	21							12			
1961	昭和	36	「スポーツ振興法」が制定され、体育指導委員の位置づけ、役割が明確にされる。 戦後の「児童愛護班活動」「校外生活指導者」を経て昭和36年から「地区少年指導員」を置く マリントワーが開業 大黒町地先埋立てが完成 港北区自治会、町内会連絡協議会発足	102	72	22							13			
1962	昭和	37	横浜市公明選挙推進協議会発足 港の見える丘公園完成 横浜文化体育館完成	103	73	23							14			
1963	昭和	38	「横浜市体育指導委員規則」を制定し、職務内容等を決定した。 東急バス日吉営業所開設	104	74	24							15			
1964	昭和	39	根岸線(桜木町・磯子間)が開通 東海道新幹線が開通し新横浜駅が開業 10月10日 東京オリンピック開催	105	75	25							16			
1965	昭和	40	「横浜の都市づくりの将来計画の構想」を発表 第三京浜道路開通	106	76	26							17			



新羽地区関係年表（調査中）

令和5年8月17日 現在				連合町内会										消防団		社協・民生	
西暦	和暦	年	出来事（横浜市、港北区、新羽地域周辺）	横浜開港（周年）	横浜市政（周年）	港北区制・新羽町（周年）	新羽町連合町内会（周年）	連合町内会長	新羽地区健康実務委員	優勝町会	新羽地区健康実務委員	新羽サマーフェスティバル実行委員長	合同敬老の集い（回）	港北消防団（周年）	第七分団長（区本部長）※原則年度単位	新羽地区社会福祉協議会会長	新羽地区民生児童委員協議会会長
1966	昭和	41	年 4月18日、東急バス新羽営業所が開設 6月鶴見川水害 床上浸水5496戸、床下浸水16991戸 清掃局(現資源循環局)港北事務所開設 下水道局(現環境創造局)太尾ポンプ場運転開始	107	77	27								18			
1967	昭和	42	年 平瀧湾の埋立てが完成 市警(現県警)、港北警察署開署	108	78	28								19			
1968	昭和	43	年 神奈川県、横浜市青少年指導員制度発足（昭和36年から置かれていた「地区少年指導員」制度の幅を広げ、昭和43年から「青少年指導員」という名称で活動を開始。） 市営地下鉄（上大岡・関内間）の建設に着手 横浜線(東神奈川～小机)複線化 道路局港北土木事務所開設 学校開放事業において「推進校」を設置し、校庭及び体育館を開放する。（30校）	109	79	29								20			
1969	昭和	44	年 3月8日、新羽町と新吉田町の境界を変更する 港北区制30周年・新羽町設置30周年 10月1日、人口増加に伴い横浜市域行政区の再編成が行われ、南区から港南区、保土ヶ谷区から旭区、戸塚区から瀬谷区、港北区から緑区がそれぞれ分離し、設置され4区が新たに誕生。 同日よりそれぞれの区名を冠称した消防団が編成されるとともに、川和消防団が緑消防団と改称され、17消防団7,824人となる。	110	80	30								21	唐戸 馨		
1970	昭和	45	年 港北ニュータウン建設事業に着手 根岸線（磯子・洋光台間）が開通 横浜市人口200万人突破 水道局港北営業所開設 学校開放事業において「特別推進校」を設置し、体育館を夜間開放する。（8校）プール開放始まる。（3校）	111	81	31								22	唐戸 馨		
1971	昭和	46	年 新田小学校の児童数1600人を超える。 新田小学校分離で9月に新吉田小学校創立 金沢地先埋め立て事業に着手	112	82	32								23	唐戸 馨		
1972	昭和	47	年 3月31日 電車、トロリーバスとともに全廃 12月16日 地下鉄開業（伊勢佐木長者町～上大岡間） 地震時の広域避難場所が決定	113	83	33								24	唐戸 馨		
1973	昭和	48	年 新田地区連合町内会から分かれて、新羽町連合町内会、新吉田地区連合町内会が発足。初代連合町内会長に長澤茂氏就任 新羽地区体育指導委員連絡協議会発足 中山幹夫氏が初代会長に就任 横浜市青少年指導員連絡協議会発足 永井喜男氏が新羽地区青少年指導員協議会会長に就任（確かな情報ではありません。ご存じの方がおりましたらご教授ください。） 根岸線全線（洋光台・大船間）開通 港北ニュータウン基本計画発表 市内初の老人福祉センター菊名寿楽荘開設	114	84	34	発足	長澤 茂						25	唐戸 馨		
1974	昭和	49	年 横浜市・区公明選挙推進協議会を横浜市・区明るい選挙推進協議会にすべて改称 第1回区民のつどい（区民まつりの前身） 横浜市の人口が250万人を突破	115	85	35	1	長澤 茂	1	中山幹夫	紅白対抗			26	唐戸 馨	不明	不明
1975	昭和	50	年 9月、港北区綱島東公衆浴場火災（1棟、1,719平方メートル焼損） 11月、消防局はコンピュータによる「自動指令通信システム」運用開始 11月6日：土地区画整理事業に伴い、新羽町の一部を新横浜三丁目に編入	116	86	36	2	長澤 茂	2	中山幹夫	紅白対抗			27	唐戸 馨	不明	不明
1976	昭和	51	年 9月4日 地下鉄開業（伊勢佐木長者町～横浜間、上大岡～上永谷間） 東海道新幹線ひかり号新横浜停車(1日2本) 学校開放事業において、小・中学校全校で、校庭開放が始まる	117	87	37	3	長澤 茂	3	中山幹夫	紅白対抗			28	岸 芳秋	不明	不明
1977	昭和	52	年 新田小学校の児童数が1400名となり、4/1新羽小学校プレハブ校舎で開校。開校式挙式 8月新羽小学校新校舎完成し、校章、校旗が決まり、給食がはじまる。 港北区水防協議会、港北区公明選挙推進協議会(現港北区明るい選挙推進協議会)発足 学校開放事業において、団体登録制を導入。地域の方々による自主管理・自主運営が始まる。⇒・50日(校庭開放)、150日(推進校)、200日(特別推進校)開放となる	118	88	38	4	長澤 茂	4	中山幹夫	紅白対抗			29	岸 芳秋	不明	不明
1978	昭和	53	年 4月1日 新羽中学校創立 5月29日、新羽町の一部を太尾町に編入 横浜市青少年指導員要綱制定 横浜市人口が2,729,433人に達し、全国で第2位となる 大通り公園、横浜スタジアムが完成。大洋ホエールズが本拠地を川崎球場より正式移転 港北区新総合庁舎(大戸町)開設 横浜線(小机～中山間)複線化	119	89	39	5	長澤 茂	5	中山幹夫	紅白対抗			30	岸 芳秋	不明	不明
1979	昭和	54	年 港北区制40周年・新羽町設置40周年 横浜市青少年指導員10周年記念大会開催 10年顕彰開始	120	90	40	6	長澤 茂	6	中山幹夫	紅白対抗			31	岸 芳秋	不明	不明



新羽地区関係年表（調査中）

令和5年8月17日 現在				連合町内会										消防団		社協・民生	
西暦	和暦	年	出来事（横浜市、港北区、新羽地域周辺）	横浜開港（周年）	横浜市政（周年）	港北区制・新羽町（周年）	新羽町連合町内会（周年）	連合町内会長	新羽地区健康実務実行委員長	優勝町会	新羽サマーフェスティバル実行委員長	合同敬老の集い（回）	港北消防団（周年）	第七分団長（区本部長）※原則年度単位	新羽地区社会福祉協議会会長	新羽地区民生児童委員協議会会長	
1980	昭和	55	年 第一回横浜青少年フェスティバル開催（横浜スタジアム） 横浜ベイブリッジ建設事業に着手 熊野神社市民の森開園 港北図書館、菊名地区センター開館 学校開放事業において校庭・体育館開放が、150日または200日開放となる（小・中全体）。図書室、特別教室開放が始まる。（14校）	121	91	41	7	長澤 茂	7	中山幹夫	紅白対抗		32	岸 芳秋	不明	不明	
1981	昭和	56	年 3月31日 中山幹夫氏、新羽地区体育指導委員連絡協議会会長を退任 4月1日 和田国紘氏、新羽地区体育指導委員連絡協議会会長に就任 横浜市営地下鉄の延伸が決まる 第一回横浜市青少年指導員大会開催 「よこはま21世紀プラン」を策定 交通局港北営業所開設 新田地区センター開館 学校の機械警備化が始まる。（39校）	122	92	42	8	長澤 茂	8	和田国紘	紅白対抗		33	岸 芳秋	不明	不明	
1982	昭和	57	年 3月31日、土地改良事業に伴い、新羽町と緑区大熊町との境界を変更 横浜で「国連アジア太平洋都市会議」が開催される	123	93	43	9	長澤 茂	9	和田国紘	紅白対抗		34	岸 芳秋	不明	不明	
1983	昭和	58	年 「みなとみらい21事業」に着手 学校開放事業において校庭の夜間開放が始まる。（1校） 小机小学校、開校	124	94	44	10	長澤 茂	10	和田国紘	紅白対抗		35	岸 芳秋	不明	不明	
1984	昭和	59	年 新羽小学校に相模土壌完成。なかよじ像完成。 地域健康づくり生涯スポーツ推進モデル事業 1区1地区で、体育指導委員が中心となって中年、家族を主体として、NEWSスポーツ教室、大会など企画（地域ぐるみの健康増進、学校開放事業） 学校開放事業の地域住民への開放など地域スポーツの振興のために積極的に活用されるようになる。 金沢シーサイドライン建設に着手 第1回鶴見川花火大会 大倉山記念館開館、大倉山公園一部開園 学校開放事業において武道場の開放が始まる。（17中学校）	125	95	45	11	長澤 茂	11	和田国紘	紅白対抗		36	岩崎 義輔	不明	不明	
1985	昭和	60	年 3月14日 地下鉄開業（横浜～新横浜間、上永谷～舞岡間） 横浜市子供会連絡協議会30周年記念式典於西公会堂（12/1） 新羽丘陵公園検討会発足 横浜市の人口が300万人を超える 帆船「日本丸」が公開される 港北スポーツセンター開館 第1回港北駅伝大会 大倉山、市内初の緑地保全地区に指定される 学校開放事業において校庭・体育館開放が全校で200日開放となる。 （小318校、中134校、その他2校計454校）	126	96	46	12	長澤 茂	12	和田国紘	中之久保		37	岩崎 義輔	不明	不明	
1986	昭和	61	年 11月 戸塚区が、戸塚、栄、泉の3区に再編成され、同日よりそれぞれの名称を冠称とした消防団が誕生し、19消防団7,824人となる。 区に早期に公園を作りたい要望を提出。テーマは「緑豊かな土地を残して文教都市へ」 『港北区史』発刊	127	97	47	13	長澤 茂	13	和田国紘	中之久保 北新羽		38	岩崎 義輔	不明	不明	
1987	昭和	62	年 5月6日、新羽町の一部が緑区に編入（現在の都筑区仲町台一丁目、仲町台二丁目、仲町台三丁目、仲町台五丁目の各一部） 5月24日、地下鉄開業（舞岡～戸塚間） 体育指導委員の負担増大に伴い、「横浜さわやかスポーツ」発足 シャッフルボード、インディアカ、バタング、バウンドテニス、チェックボール、ディスクゴルフの横浜さわやかスポーツ6種が誕生する さわやかスポーツ普及委員会発足（スポーツセンターを事務局として体育指導委員、健康体力づくり指導者、日本体育協会スポーツ指導員、県スポーツリーダー、老人会スポーツ委員で組織） 港北ニュータウンスポーツ広場で、さわやかスポーツフェスティバル開催。細郷市長、子どもから高齢者まで2000人の区民が参加し、新しいスポーツの普及活動が始まる。	128	98	48	14	長澤 茂	14	和田国紘	中之久保		39	岩崎 義輔	不明	不明	

新羽地区関係年表（調査中）

令和5年8月17日			体育指導・スポーツ推進委員							青少年指導員				子ども会		港北区関連				備考			
西暦	和暦		・体育指導委員 ・スポーツ推進委員（期）	年数	新羽地区 ・スポーツ推進委員 連絡協議会会長	ヘタック大会	インディアアカ大会	クラウンドゴルフ大会	少年少女スポーツ大会	青少年指導員期	年数	新羽地区 青少年指導員 協議会会長	飯盒炊飯大会	ミニキャンフ	年数	新羽連合子ども会 育成協議会会長	区ヘタック大会	区港北駅伝大会	区民マラソン大会	区クラウンドゴルフ大会	区ハットポトルケット大会		
1980	昭和	55	年	12	24	中山幹夫			3	7	12	永井喜男						10					
1981	昭和	56	年	13	25	和田国紘			4	7	13	永井喜男						11					
1982	昭和	57	年	13	26	和田国紘			5	8	14	永井喜男						12					
1983	昭和	58	年	14	27	和田国紘			6	8	15	永井喜男						13					
1984	昭和	59	年	14	28	和田国紘			7	9	16	永井喜男						14					
1985	昭和	60	年	15	29	和田国紘			8	9	17	永井喜男						1	15				
1986	昭和	61	年	15	30	和田国紘			9	10	18	永井喜男						2	16				
1987	昭和	62	年	16	31	和田国紘			10	10	19	永井喜男				小山？		3	17	1			

新羽地区関係年表（調査中）

令和5年8月17日 現在				連合町内会										消防団		社協・民生	
西暦	和暦		出来事（横浜市、港北区、新羽地域周辺）	横浜開港（周年）	横浜市政（周年）	港北区制・新羽町（周年）	新羽町連合町内会（周年）	連合町内会長	新羽地区健康祭実行委員長	優勝町会	新羽サマーフェスティバル実行委員長	合同敬老の集い（回）	港北消防団（周年）	第七分団長（区本部長）※原則年度単位	新羽地区社会福祉協議会会長	新羽地区民生児童協議会会長	
1988	昭和	63	年 3月31日 永井喜男氏、新羽地区青少年指導員協議会会長を退任 4月1日 飯島正夫氏、新羽地区青少年指導員協議会会長に就任 2月29日、住居表示の実施に伴い、新羽町の一部を新栄町に編入 10月、北新羽杉山神社神輿保存会設立 区役所に障害学習推進担当課長、担当係長が配置され、生涯学習体制の確立に取り組む スポーツ振興審議会の報告 町内会連合会、青少年指導員、子ども会、PTA連絡会等の地域組織の協力を得てさわやかスポーツの普及活動を推進 丘陵公園愛護会スタート 排水路に下水を敷設して埋立、新田緑道完成 各区で市政100周年記念事業地域イベントが開催される 港北区シンボルマーク制定 横浜線全線複線化 「横浜市生涯学習基本構想」を策定する。 コミュニティ・スクールの展開に向けた提言（横浜市コミュニティ・スクール研究会） 海の公園・海水浴場がオープン 金沢動物園が開園	129	99	49	15	長澤 茂	15	和田国紘	中之久保		40	深川 政夫	不明	不明	
1989	平成	1	年 2月27日、住居表示の実施に伴い、新羽町の一部を勝田南一丁目、勝田南二丁目編入 3月31日 和田国紘氏、新羽地区体育指導員連絡協議会会長を退任 4月1日 堀内猛氏、新羽地区体育指導員連絡協議会会長に就任 港北区制50周年・新羽町設置50周年 8月27日、地下鉄戸塚駅本開業 新交通金沢シーサイドライン（新杉田・金沢八景間）が開通 横浜ベイブリッジが開通 横浜市青少年指導員20周年記念大会開催 20年顕彰開始 市政100周年・開港130周年記念式典が行われる 市の花として「バラ」を制定 横浜博覧会（3/25から10/1）がみなとみらい21地区で開催される 横浜アリーナ開館 横浜博覧会開催	130	100	50	16	長澤 茂	16	堀内 猛	中之久保		41	深川 政夫	不明	不明	
1990	平成	2	年 「よこはま21世紀プラン第3次実施計画（1990～1994）」が始まる コミュニティ・スクールを開設する。（7校）	131	101	51	17	長澤 茂	17	堀内 猛	大竹		42	深川 政夫	不明	不明	
1991	平成	3	年 みなとみらい21地区に横浜国際平和会議場が完成する 区の木 ハナミズキ、区の花 ウメ 制定 横浜労災病院開設	132	102	52	18	長澤 茂	18	堀内 猛	北新羽		43	深川 政夫	不明	不明	
1992	平成	4	年 白岩金男氏、新羽連合子ども育成協議会会長 全国民生委員児童委員協議会を改称 あそぼーっと夢inアリーナKOHOKUフェスティバル開催 横浜ラポール開館、総合保健医療センター開設 学校の週5日制が始まる（第2土曜日は学校が休みとなる）。 学校5日制支援事業が始まる（小学校全体で第2土曜日の午前中、児童・生徒に学校施設を開放する）。	133	103	53	19	長澤 茂	19	堀内 猛	新羽町	1	白岩金男	44	吉野 正良	不明	不明
1993	平成	5	年 3月18日 地下鉄開業（新横浜～あざみ野間） 3/18新羽駅、新横浜北（後 北新横浜に改名）駅開業 新総合計画「ゆめはま2010プラン（長期ビジョン）」を策定する 7月21日 横浜市交通事業経営健全化委員会設置 横浜八景島がオープンする	134	104	54	20	長澤 茂	20	堀内 猛	北新羽	2	白岩金男	45	吉野 正良	不明	不明
1994	平成	6	年 4月横浜市中央図書館が全面オープンする 8月9日 横浜市交通事業経営健全化委員会答申 主任児童委員制度の創設 11月6日、行政区の再編に伴い、港北区、緑区の再編が行われる。同日より新たに青葉区、都筑区が誕生。新羽町の一部を都筑区勝田町に編入。また、それぞれの名称を冠称とした消防団が設置され、18行政区、21消防団、7,824人をもって運営される 新横浜行政サービスコーナー開設 コミュニティ・スクールの、学校施設を活用したコミュニティハウスとして位置づける	135	105	55	21	長澤 茂	21	堀内 猛	北新羽	3	白岩金男	46	高瀬 正一	不明	不明
1995	平成	7	年 1月横浜市歴史博物館がオープンする 1月17日 阪神淡路大震災 3月20日 地下鉄サリン事件 新吉田地域ケアプラザ開設 日吉駅行政サービスコーナー開設 震災時避難場所が決定 学校5日制の拡大により、第2・第4土曜日は学校が休みとなる（学校5日制支援事業を第2・第4土曜日に実施する）	136	106	56	22	長澤 茂	22	堀内 猛	中之久保	4	白岩金男	47	高瀬 正一	不明	不明

新羽地区関係年表（調査中）

令和5年8月17日				体育指導・スポーツ推進委員							青少年指導員				子ども会		港北区関連				備考			
西暦	和暦			・体育指導委員 ・スポーツ推進委員（期）	年数	新羽地区 ・スポーツ推進委員 連絡協議会会長	ヘタंक大会	インディアカ大会	クラウンドゴルフ大会	少年少女スポーツ大会	青少年指導員期	年数	新羽地区 青少年指導員 協議会会長	飯盒炊飯大会	ミニキャンフ	年数	新羽連合子ども会 育成協議会会長	区ヘタंक大会	区港北駅伝大会	区民マラソン大会	区クラウンドゴルフ大会	区ハットボトルロケット大会		
	年	月	日																					
1988	昭和	63	年	16	32	和田国紘				11	11	20	飯島正夫				小山？		4	18	2			
1989	平成	1	年	17	33	堀内 猛				12	11	21	飯島正夫				小山？		5	19	3			
1990	平成	2	年	17	34	堀内 猛				13	12	22	飯島正夫				小山？		6	20	4			
1991	平成	3	年	18	35	堀内 猛				14	12	23	飯島正夫				小山？		7	21	5			
1992	平成	4	年	18	36	堀内 猛				15	13	24	飯島正夫				白岩金男		8	22	6			
1993	平成	5	年	19	37	堀内 猛				16	13	25	飯島正夫	1			白岩金男		9	23	7			
1994	平成	6	年	19	38	堀内 猛				17	14	26	飯島正夫	2			白岩金男		10	24	8			
1995	平成	7	年	20	39	堀内 猛		1		18	14	27	飯島正夫	3			白岩金男		11	25	9			

新羽地区関係年表（調査中）

令和5年8月17日 現在				連合町内会										消防団		社協・民生	
西暦	和暦	年	出来事（横浜市、港北区、新羽地域周辺）	横浜開港（周年）	横浜市政（周年）	港北区制・新羽町（周年）	新羽町連合町内会（周年）	連合町内会長	新羽地区健康警察実行委員長	優勝町会	新羽サマーフェスティバル実行委員長	合同敬老の集い（回）	港北消防団（周年）	第七分団長（区本部長）※原則年度単位	新羽地区社会福祉協議会会長	民生児童委員協議会会長	
1996	平成	8	2月17日 地下鉄新羽車両基地開設 3月31日 飯島正夫氏、新羽地区青少年指導員協議会会長を退任 4月1日 中山文雄氏、新羽地区青少年指導員協議会会長に就任	137	107	57	23	長澤 茂	23	堀内 猛	北新羽	5	白岩金男	48	高瀬 正一	不明	不明
1997	平成	9	新羽丘陵公園竣工 2/3横田めぐみさん北朝鮮拉致実名報道 はまっこふれあいスクールはじまる 10月 鶴見、神奈川、西、伊勢佐木、加賀町、寿、大岡、港南、保土ヶ谷、旭、磯子、都筑の12消防団で本市で初めて190人の女性消防団員が任命される。 篠原地区センター・篠原地域ケアプラザ開設 日本盲導犬協会訓練センター完成 事業所系ゴミ有料化スタート	138	108	58	24	長澤 茂	24	堀内 猛	北新羽	6	白岩金男	49	高瀬 正一	不明	不明
1998	平成	10	3月7日 港北消防団発足50周年 3月31日 中山文雄氏、新羽地区青少年指導員協議会会長を退任 4月1日 大森洋一氏、新羽地区青少年指導員協議会会長に就任 5月横浜国際競技場(現日産スタジアム)オープン スポーツ医学科学センター・スポーツコミュニティプラザ(現日産ウォーターパーク)開館 7月横浜国際プールがオープン 10月10日 市営交通イメージキャラクター「はまりん」誕生 10月 平成10年度女性消防団員の任命を行うため200人増員の条例定数を改正し8,024人とし、200人の女性消防団員を採用し、累計390人となった	139	109	59	25	長澤 茂	25	堀内 猛	新羽町	7	白岩金男	50	高瀬 正一	中山 宏	不明
1999	平成	11	3月31日 長澤茂氏、新羽町連合町内会長を退任 3月31日 堀内猛氏 新羽地区体育指導委員連絡協議会会長を退任 4月1日 金子米太郎氏、新羽町連合町内会長に就任 4月1日 川向隆次氏 新羽地区体育指導委員連絡協議会会長に就任 港北区制60周年・新羽町設置60周年 4月よこはま動物園（スーラシア）が開園 5月25日 交通局ホームページ開設 8月29日 地下鉄開業（戸塚～湘南台間）・新横浜北駅を北新横浜駅に駅名変更 10月 200人増員(女性120人、男性80人)条例定数を改定し、8,224人とし、累計で女性消防団員は510人となった。 青少年指導員による全市一斉夜間パトロール開始 民生委員法・児童福祉法等7法改正、社会福祉法制定（社会福祉事業法を改正）（名管職規定削除、民児協総務は「会長」と呼称変更、等） 介護保険制度施行 児童虐待防止法施行 平成12年10月 女性消防団員の当初採用予定の最終年度であり、140人増員の条例定数の改定を行い、現在10月1日採用を予定。これにより、女性消防団員は累計650人となる。 高田地域ケアプラザ、下田地域ケアプラザ、大豆戸地域ケアセンター(現大豆戸地域ケアプラザ)、下田ショートステイセンター開館 港北国際交流ラウンジ開館	140	110	60	26	金子米太郎	26	川向隆次	北新羽	8	白岩金男	51	高瀬 正一	中山 宏	不明
2000	平成	12	児童福祉法の一部改正（主任児童委員の法定化） 民生委員・児童委員の定数基準について（通知）（主任児童委員の複数配置実現）	141	111	61	27	金子米太郎	27	川向隆次	北新羽	9	白岩金男	52	三橋 雅久	中山 宏	不明
2001	平成	13	3月31日 白岩金男氏、新羽連合子ども育成協議会会長を退任 4月1日 西山一氏、新羽連合子ども育成協議会会長に就任 福祉保健センター開設(福祉部と保健所を統合) 樽町地域ケアプラザ開館 学校完全週5日制となる。 4月 赤レンガ倉庫がオープン 5月 横浜港大さん橋国際客船ターミナルがオープン 6月 2002FIFAワールドカップ決勝戦等が横浜国際総合競技場で開催 8月 新羽サマーフェスティバルを連合子ども会主催から新羽町連合町内会主催行事として実施	142	112	62	28	金子米太郎	28	川向隆次	南	10	白岩金男	53	三橋 雅久	中山 宏	不明
2002	平成	14	クリオ新横浜北自治会が誕生 3月31日 金子米太郎氏 連合町内会長を退任 4月1日 塩山良三氏 連合町内会長に就任 港北区役所の屋上緑化が完成 新横浜夢オアシス(鶴見川多目的遊水地)運用開始	143	113	63	29	金子米太郎	29	川向隆次	北新羽	11	西山 一	54	三橋 雅久	中山 宏	不明
2003	平成	15	2月 みなとみらい線開業 3月31日 大森洋一氏、新羽地区青少年指導員協議会会長を退任 4月1日 磯部秀夫氏、新羽地区青少年指導員協議会会長に就任 城郷小机地区センター・城郷小机地域ケアプラザ開館 学校開放活性化モデル事業を実施する。（3校）	144	114	64	30	塩山良三	30	川向隆次	北新羽	12	西山 一	55	三橋 雅久	中山 宏	不明
2004	平成	16	2月 みなとみらい線開業 3月31日 大森洋一氏、新羽地区青少年指導員協議会会長を退任 4月1日 磯部秀夫氏、新羽地区青少年指導員協議会会長に就任 城郷小机地区センター・城郷小机地域ケアプラザ開館 学校開放活性化モデル事業を実施する。（3校）	145	115	65	31	塩山良三	31	川向隆次	南	13	西山 一	56	秋元 義顯 (三橋 雅久)	中山 宏	不明

新羽地区関係年表（調査中）

令和5年8月17日			体育指導・スポーツ推進委員							青少年指導員				子ども会		港北区関連					備考	
西暦	和暦		・体育指導委員 スポーツ推進委員（期）	年数	連・新羽地区 絡スポーツ推進委員 協議会会長	ヘタंक大会	インディアカ大会	クラウンドゴルフ大会	少年少女スポーツ大会	青少年指導員期	年数	新羽地区 協議会会長 青少年指導員	飯盒炊飯大会	ミニキャンフ	年数	新羽連合子ども会 育成協議会会長	区ヘタंक大会	区港北駅伝大会	区民マラソン大会	区クラウンドゴルフ大会	区ハットボールロケット大会	
1996	平成	8	年	20	40	堀内 猛	1	2		19	15	28	中山文雄	4		白岩金男	1	12	26	10		
1997	平成	9	年	21	41	堀内 猛	2	3		20	15	29	中山文雄	5		白岩金男	2	13	27	11	1	
1998	平成	10	年	21	42	堀内 猛	3	4	1	21	16	30	大森洋一	6	1	白岩金男	3	14	28	12	2	
1999	平成	11	年	22	43	川向隆次	4	5	2	22	16	31	大森洋一	7	2	白岩金男	4	15	29	13	3	
2000	平成	12	年	22	44	川向隆次	5	6	3	23	17	32	大森洋一	8	3	白岩金男	5	16	30	14	4	
2001	平成	13	年	23	45	川向隆次	6	7	4	24	17	33	大森洋一	9	4	白岩金男	6	17	31	15	5	
2002	平成	14	年	23	46	川向隆次	7	8	5	25	18	34	大森洋一	10	5	西山 一	7	18	32	16	6	
2003	平成	15	年	24	47	川向隆次	8	9	6	26	18	35	大森洋一	11	6	西山 一	8	19	33	17	7	
2004	平成	16	年	24	48	川向隆次	9	10	7	27	19	36	磯部秀夫	12	7	西山 一	9	20	34	18	8	

新羽地区関係年表（調査中）

令和5年8月17日 現在				連合町内会										消防団		社協・民生		
西暦	和暦		出来事（横浜市、港北区、新羽地域周辺）	横浜開港（周年）	横浜市政（周年）	港北区制・新羽町（周年）	新羽町連合町内会（周年）	連合町内会長	新羽地区健康祭実行委員長	優勝町会	新羽サマーフェスティバル実行委員長	合同敬老の集い（回）	港北消防団（周年）	※第七分団長（区本部長） ※原則年度単位	新羽地区社会福祉協議会会長	民生児童委員協議会会長		
2005	平成	17	年 1月31日、住居表示の実施に伴い、新羽町南部の一部から北新横浜一丁目、北新横浜二丁目 を新設し、一部を太尾町に編入 障害者自立支援法成立 <b>新羽小学校の卒業記念植樹が始まる</b> 港北区ふるさとサポート事業開始 港北AAA(港北安全・安心まちづくり協議会)発足	146	116	66	32	塩山良三	32	川向隆次	南	14	西山 一	57	秋元 義顯 (三橋 雅久)	中山 宏	不明	
2006	平成	18	年 10月 <b>新羽町自治会、新羽地区体育指導委員連絡協議会でgooブログを開設しインターネット を利用した地域の情報発信試行</b> 横浜市地域福祉保健計画(FFF)事業スタート 「横浜市学校開放あり方検討委員会」を設置、これからの時代に即した学校開放のあり方につ いて提言を受ける	147	117	67	33	塩山良三	33	川向隆次	北新羽	15	西山 一	58	秋元 義顯 (三橋 雅久)	望月俊一	不明	
2007	平成	19	年 民生委員制度創設90周年 3月18日 ICカード利用開始 6月17日鶴見川舟運復活プロジェクト（仮題）検討会発足 港北区内小学校で緑のカーテン事業を実施 港北区内初のオートモール複合型大型商業施設が師岡町にオープン 日吉本町地域ケアプラザ開館 「横浜市学校開放あり方検討委員会」の提言を受け、学校開放の新たな仕組みとして「クラブ 型組織の運営する学校開放」へ4か年をかけて移行	148	118	68	34	塩山良三	34	川向隆次	中央	16	西山 一	59	秋元 義顯 (三橋 雅久)	望月俊一	不明	
2008	平成	20	年 3月30日 地下鉄グリーンライン（中山～日吉間）開業 3月31日 横浜市体育指導委員規則 平成20年3月31日 規則第36号 3月31日 塩山良三氏 連合町内会長を退任 3月31日 磯部秀夫氏 新羽地区青少年指導員協議会会長を退任 3月31日 西山一氏、新羽連合子ども会育成協議会会長を退任 4月1日 中山幹夫氏 連合町内会長に就任 4月1日 高橋穂氏 新羽地区青少年指導員協議会会長に就任 4月1日 大森洋一氏、新羽連合子ども会育成協議会会長に就任 7月20日 舟運プロジェクト1号艇「舟運丸新羽橋から生麦河口間往復 舟運プロジェクトにて、新横浜公園にて「お米づくり」開始 師岡コミュニティハウス開館	149	119	69	35	中山幹夫	35	川向隆次	北新羽	17	大森洋一	60	秋元 勝治郎 (秋元 義顯)	望月俊一	不明	
2009	平成	21	年 3月31日 川向隆次氏 新羽地区体育指導委員連絡協議会会長を退任 4月1日 港北区制70周年・新羽町設置70周年 4月1日 小松賢吉氏 新羽地区体育指導委員連絡協議会会長に就任 住居表示の実施に伴い、新羽町の一部を大倉山七丁目に編入し、太尾町の一部を新羽町に編 入 開国博Y150が開催される（4月～9月） 5月1日 google、yahooで新羽町のアカウントを取得し、地域行事の予定についてカレン ダーでの共有を試行開始 8月8日 新羽地区体育指導委員連絡協議会の運営及び活動に関する規約施行 10月 第36回新羽地区健康祭実施を機に、中山幹夫連合町内会長よりインターネットを使っ た新羽地区の情報発信ができないか検討するようスポーツ推進委員連絡協議会会長、書記に 指示 12月 新羽町自治会で実施していたgooブログに新羽地区全域の情報を掲載して連合町内会 としてデジタルコンテンツによる情報発信試行開始 新羽町新吉田町せせらぎ緑道延長整備完了 新田新道が延伸される	150	120	70	36	中山幹夫	36	小松賢吉	新羽町	18	大森洋一	61	秋元 勝治郎 (秋元 義顯)	望月俊一	不明	
2010	平成	22	年 神奈川県青少年保護育成条例改正 青少年指導員が規定位置づけられる 横浜市体育指導委員規則 平成22年3月31日規則第29号 規則施工後最後に任命する体育 指導委員の任期 6月1日 新羽町のメールアドレスを取得して、e-mailによる情報の共有を開始	151	121	71	37	中山幹夫	37	小松賢吉	新羽町	19	大森洋一	62	秋元 勝治郎 (秋元 義顯)	望月俊一	不明	
2011	平成	23	年 3月11日 東日本大震災 3月31日 大森洋一氏 新羽連合子ども会育成協議会会長を退任 4月1日 神澤誠氏 新羽連合子ども会育成協議会会長に就任 4月1日 第2期港北区地域福祉保健計画開始 8月 スポーツ基本法制定に伴い、横浜市体育指導委員から横浜市スポーツ推進委員に名称変 更。「横浜市スポーツ推進委員規則 平成23年8月24日規則第74号」制定。 神奈川県青少年保護育成条例改正施行（青少年指導員が位置づけられる） 第1期横浜市スポーツ推進計画策定 学校開放事業において「クラブ組織の運営する学校開放」となる。文化スポーツクラブによる 学校開放運営事業への移行が終了	152	122	72	38	中山幹夫	38	小松賢吉	南	20	神澤 誠	第1回新羽 町合同敬老 の集い	63	秋元 勝治郎 (秋元 義顯)	望月俊一	不明

新羽地区関係年表（調査中）

令和5年8月17日			体育指導・スポーツ推進委員							青少年指導員					子ども会		港北区関連					備考		
西暦	和暦		・体育指導委員 スポーツ推進委員（期）	年数	連絡 協議 会長	・新羽地区 スポーツ推進委員	ヘ タンク大会	イン ディアアカ大会	クラ ウンドゴルフ大会	少年 少女スポーツ大会	青 少年指導員期	年数	協 議 会 会 長	新 羽 地 区 青 少 年 指 導 員	飯 盒 炊 飯 大 会	ミ ニ キ ャ ン フ	年 数	新 羽 連 合 子 ど も 会 育 成 協 議 会 会 長	区 ヘ タ ン ク 大 会	区 港 北 駅 伝 大 会	区 民 マ ラ ソ ン 大 会	区 グ ラ ウ ン ド ゴ ル フ 大 会	区 ハ ッ ト ボ ト ル ロ ケ ッ ト 大 会	
2005	平成	17	年	25	49	川向隆次	10	11	8	28	19	37	磯部秀夫	13	8		西山 一	10	21	35	19	9		
2006	平成	18	年	25	50	川向隆次	11	12	9	29	20	38	磯部秀夫	14	9		西山 一	11	22	36	20	10		
2007	平成	19	年	26	51	川向隆次	12	13	10	30	20	39	磯部秀夫	15	10		西山 一	12	23	37	21	11		
2008	平成	20	年	26	52	川向隆次	13	14	11	31	21	40	高橋 稔	16	11		大森洋一	13	24	38	22	12		
2009	平成	21	年	27	53	小松賢吉	14	15	12	32	21	41	高橋 稔	17	12		大森洋一	14	25	39	23	13		
2010	平成	22	年	27	54	小松賢吉	15	16	13	33	22	42	高橋 稔	18	13		大森洋一	15	26	40	24	14		
2011	平成	23	年	28	55	小松賢吉	16	17	14	34	22	43	高橋 稔	19	14		神澤 誠	16	27	41	25	15		

新羽地区関係年表（調査中）

令和5年8月17日 現在			連合町内会										消防団		社協・民生		
西暦	和暦	出来事（横浜市、港北区、新羽地域周辺）	横浜開港（周年）	横浜市政（周年）	港北区制・新羽町（周年）	新羽町連合町内会（周年）	連合町内会長	新羽地区健康警察実行委員長	優勝町会	新羽サマーフェスティバル実行委員長	合同敬老の集い（回）	港北消防団（周年）	※第七分団長（区本部長） ※原則年度単位	新羽地区社会福祉協議会会長	新羽地区民生児童委員協議会会長		
2012	平成 24 年	2月 新羽小学校土曜塾開設 2月4日 鶴見川舟運復活プロジェクト 第19回横浜環境活動実績賞受賞 横浜市長林文子より表彰状授与 10月8日新羽町のTwitter開設（10/08） 10月12日 新羽町のブログ開設（10/12） gooブログからFC2ブログへ移行 10月13日 新羽町のfacebook開設（10/13） 12月 新羽町のホームページ制作開始、仮開設	153	123	73	39	中山幹夫	39	小松賢吉	新羽町	21	神澤 誠	第2回新羽町合同敬老の集い	64	西山 孝雄（秋元 義顯）	望月俊一	松村清見
2013	平成 25 年	3月23日 鶴見川太尾河岸跡 記念碑除幕式 3月31日 中山幹夫氏 連合町内会長を退任 4月1日 大谷佐一氏 連合町内会長に就任 5月6日 新羽町のホームページを開設 独自コンテンツ 地域活動豆知識（長澤茂初代連合町内会長、中山幹夫元連合町内会長の教を記事にしたもの） 新羽地区行事予定（PDF） 新羽町の年表（PDF） ※主に、ブログ、新羽町SNS（facebook、Twitter）、横浜市や港北区コンテンツへのリンクなど、ポータルとしての機能	154	124	74	40	大谷佐一	40	小松賢吉	（中止）	22	神澤 誠	第3回新羽町合同敬老の集い	65	西山 孝雄（秋元 義顯）	望月俊一	松村清見
2014	平成 26 年	3月31日 高橋裕氏 新羽地区青少年指導員協議会会長を退任 4月1日 豊岡修氏 新羽地区青少年指導員協議会会長に就任 4月18日 新羽地域ケアプラザ・横浜市新羽コミュニティハウス開所 建設報告会（初代所長：水村志津子） 新横浜駅開業50周年	155	125	75	41	大谷佐一	41	小松賢吉	新羽町	23	神澤 誠	第4回新羽町合同敬老の集い	66	西山 孝雄（秋元 義顯）	望月俊一	松村清見
2015	平成 27 年	3月15日 横浜マラソン2015 フルマラソンにリニューアル（※後日距離不足が判明） 丘陵公園愛護会が国土交通大臣表彰受賞 4月01日 新羽町ホームページに独自コンテンツとして新羽町連合町内会役員の紹介を掲出 5月01日 新羽町ホームページに地域で活動する委員、団体の紹介を掲出（消防団、民生児童委員、スポーツ推進委員、青少年指導員など） 新羽町ホームページに神輿会、ケアプラザなど関係団体のリンクを掲出 7/20 舟運プロジェクト2号艇「たちばな」、1号艇「舟運丸」鶴見川舟運検証実施	156	126	76	42	大谷佐一	42	小松賢吉	新羽町	24	神澤 誠	第5回新羽町合同敬老の集い	67	西山 孝雄（秋元 義顯）	望月俊一	松村清見
2016	平成 28 年	3月13日 横浜マラソン2016 2月14日 16日熊本地震 3月1日 新羽町のホームページに連合町内会関連役員の紹介掲出開始 3月31日 第2期港北区地域福祉保健計画終了 4月1日 第3期港北区地域福祉保健計画開始 5月 「鶴見川の舟運文化と夢見る仲間たち」（鶴見川舟運復活プロジェクト）発行 5月27日 ひっとプラン情報発信部会において、地域イベントカレンダーとホームページ等ICTを使ったデジタルによる情報発信を活動の2翼として推進することとなる 6月16日 「港北区自治会町内会活動のしおり」の改訂を機に新羽町ホームページに掲載 港北区連合町内会へリンク	157	127	77	43	大谷佐一	43	小松賢吉	新羽町	25	神澤 誠	第6回新羽町合同敬老の集い	68	米山 政勝（西山 孝雄）	松村清見	中山明子
2017	平成 29 年	3月 高速横浜環状北線が開通 10月29日 横浜マラソン2017※春から秋に日程変更 民生委員制度創設100周年 横浜市青少年指導員制度50周年	158	128	78	44	大谷佐一	44	小松賢吉	（中止）	26	神澤 誠	第7回新羽町合同敬老の集い	69	米山 政勝（西山 孝雄）	松村清見	中山明子
2018	平成 30 年	3月7日 港北消防団発足70周年 3月 第2期横浜市スポーツ推進計画（中間見直し） 3月31日 大谷佐一氏 連合町内会長を退任 4月1日 松村清見氏 連合町内会長に就任 3月11日（日） 神奈川県青少年指導員制度50周年記念大会が開催（みなとみらいホール） 青少年指導員制度50年 これまでの軌跡・これからの道程 神奈川県青少年指導員制度50周年記念大会 10月28日横浜マラソン2018実施	159	129	79	45	松村清見	45	小松賢吉	新羽町	27	神澤 誠	第8回新羽町合同敬老の集い	70	中村 剛（西山 孝雄）	松村清見	中山明子
2019	平成 31 年	3月31日 神澤誠氏 新羽連合子ども会育成協議会を解散し会長を退任 4月1日 港北区制80周年（新羽町設置80周年） 6月2日 横浜開港160周年 ラグビーワールドカップ 7月25日港北区制80周年新横浜花火大会 ※ひっとプラン情報発信部会とケアプラザ合同で取材を実施。新羽町ホームページに記事を掲載。 10月31日 客船ターミナル「横浜ハンマーヘッド」が開業 11月 相鉄線とJR線が相互直通運転を開始 11月10日 横浜マラソン2019実施	160	130	80	46	松村清見	46	小松賢吉	中央	28	小松賢吉	第9回新羽町合同敬老の集い	71	中村 剛（西山 孝雄）	松村清見	中山明子

新羽地区関係年表（調査中）

令和5年8月17日				体育指導・スポーツ推進委員							青少年指導員				子ども会		港北区関連					備考			
西暦	和暦			・体育指導委員 ・スポーツ推進委員（期）	年数	新羽地区 連絡協議会 会長	新羽地区 スポーツ推進 委員	ヘタंक大会	イン ディア アカ大会	クラ ウンド ゴルフ 大会	少年 少女 スポー ツ大会	青 少 年 指 導 員 期	年数	新羽地区 協議会 会長	青少年 指導員	飯 盒 炊 飯 大 会	ミ ニ キ ャ ン フ	年数	新羽連 合子ど も会 育成協 議会会 長	区 ヘ タ ン ク 大 会	区 港 北 駅 伝 大 会	区 民 マ ラ ソ ン 大 会	区 グ ラ ウ ン ド ゴ ル フ 大 会	区 ヘ ッ ト ボ ト ル ロ ケ ッ ト 大 会	
2012	平成	24	年	28	56	小松賢吉	17	18	15	35	23	44	高橋 稔	20	15		神澤 誠	17	28	42	26	16			
2013	平成	25	年	29	57	小松賢吉	18	19	16	36	23	45	高橋 稔	21	16		神澤 誠	18	29	43	27	17			
2014	平成	26	年	29	58	小松賢吉	19	20	17	37	24	46	豊岡 修	22	17		神澤 誠	19	30	44	28	18			
2015	平成	27	年	30	59	小松賢吉	20	21	18	38	24	47	豊岡 修	23	18		神澤 誠	20	31	--	29	19			
2016	平成	28	年	30	60	小松賢吉	21	22	19	39	25	48	豊岡 修	24	19		神澤 誠	21	32	--	30	20			
2017	平成	29	年	31	61	小松賢吉	22	23	20	40	25	49	豊岡 修	25	20		神澤 誠	22	33	--	31	21			
2018	平成	30	年	31	62	小松賢吉	23	24	21	41	26	50	豊岡 修	26	21		神澤 誠	23	34	--	32	22			
2019	平成	31	年	32	63	小松賢吉	24	25	22	42	26	51	豊岡 修	27	22		解散	24	35	--	33	23			

新羽地区関係年表（調査中）

令和5年8月17日 現在				連合町内会										消防団		社協・民生		
西暦	和暦	年	出来事（横浜市、港北区、新羽地域周辺）	横浜開港（周年）	横浜市政（周年）	港北区制・新羽町（周年）	新羽町連合町内会（周年）	連合町内会長	新羽地区健康祭実行委員長	優勝町会	新羽サマーフェスティバル実行委員長	合同敬老の集い（回）	港北消防団（周年）	第七分団長（区本部長）※原則年度単位	新羽地区社会福祉協議会会長	新羽地区民生児童委員協議会会長		
2020	令和	2	武漢ウイルス感染拡大 新羽サマーフェスティバル、新羽町合同敬老の集いは中止 第47回新羽地区健康祭は小規模での開催も検討したが、夏休み中に感染が拡大したことから実行委員長判断で中止とした 東京オリンピック開催予定（1年延期） 6月 8代目横浜市庁舎が桜木駅前完成 11月1日横浜マラソン2020 中止	161	131	81	47	松村清見	47	小松賢吉	（中止）	—	中止	第10回新羽町合同敬老の集い（中止）	72	中山 勉（中村 剛）	松村清見	中山明子
2021	令和	3	東京オリンピック 武漢ウイルス感染拡大 3月31日 松村清見氏 連合町内会長を退任 4月1日 尾出清和氏 連合町内会長に就任 6月新羽町連合町内会！T化検討 ※パソコン・スマートフォンを使っの連合町内会や各町会での情報共有、会議など。 東京オリンピック 武漢ウイルス感染拡大のため、新羽サマーフェスティバル、新羽町合同敬老の集いは中止。 第48回新羽地区健康祭は午前中開催など検討を進めるも実行委員長判断で中止とした。 9月20日 祝敬老の日 新羽町自治会にて豊岡氏によるLINE、ZOOM講習会実施 ※新羽地域ケアプラザの協力 10月31日横浜マラソン2021 フルマラソン及び車いすチャレンジ中止	162	132	82	48	尾出清和	48	小松賢吉	（中止）	—	中止	第11回新羽町合同敬老の集い（中止）	73	中山 勉（中村 剛）	中山明子	米山健二
2022	令和	4	4月1日新羽丘陵公園拡張部（横浜生田線側入口）竣工 5月7日新羽町自治会にて豊岡氏を中心に！T化の検討開始 6月1日 新羽町ホームページをレスポンスフルWEBデザインに全面改修 8月19日 ドメイン取得 nippacho.com 8月27日 第1回 第4期新羽地区福祉保健計画推進委員会全体会 9月1日 【FC2レンタルサーバー-Lite】契約。無料サービスから新羽町ホームページを移行 9月15日 旧新羽町ホームページはバックアップサーバーとして運用開始 9月19日 祝敬老の日 新羽町自治会にて豊岡氏によるLINE、ZOOM講習会実施（新羽地域ケアプラザが協力） 武漢ウイルス感染拡大のため、新羽サマーフェスティバル、新羽町合同敬老の集い開催中止 9月12日 第49回新羽地区健康祭は開催に向けて準備を進めていたものの、直前で感染者が増加に転じたことから中止とした 10月30日横浜マラソン2022	163	133	83	49	尾出清和	49	小松賢吉	（中止）	—	中止	第12回新羽町合同敬老の集い（中止）	74	中山 勉（中村 剛）	中山明子	米山健二
2023	令和	5	3月 相鉄・東急新横浜線開業で相互直通運転を開始 3月31日 小松賢吉氏 新羽地区スポーツ推進委員連絡協議会会長を退任 4月1日 新羽町連合町内会発足50周年 4月1日 大森洋一氏 新羽地区スポーツ推進委員連絡協議会会長に就任 5月18日 新羽町ホームページ、SNS等、ICTコンテンツの維持管理については、引き続き連合町内会より自治会小松氏に要請 6月18日、北新羽杉山神社神輿保存会三十五周年式典（於：新横浜グレイスホテル） 8月19日 4年ぶり「第29回新羽サマーフェスティバル」開催 10月29日 横浜マラソン2023	164	134	84	50	尾出清和	50	大森洋一	紅白対抗	29	豊岡 修	第13回新羽町合同敬老の集い（中止）	75	中山 勉（中村 剛）	米山健二	秋本伸明
2024	令和	6	4月18日 新羽地域ケアプラザ・コミュニティハウス開所10周年	165	135	85	51		51	大森洋一	紅白対抗	30		76			秋本伸明	
2025	令和	7		166	136	86	52		52			31		77				
2026	令和	8		167	137	87	53		53			32		78				
2027	令和	9		168	138	88	54		54			33		79				
2028	令和	10		169	139	89	55		55			34		80				
2029	令和	11	横浜開港170周年 港北区制90周年・新羽町設置90周年	170	140	90	56		56			35		81				
2030	令和	12		171	141	91	57		57			36		82				
2031	令和	13		172	142	92	58		58			37		83				
2032	令和	14		173	143	93	59		59			38		84				
2033	令和	15	新羽町連合町内会60周年	174	144	94	60		60			39		85				
西暦	年号	和暦	出来事（横浜市、港北区、新羽地域周辺）				年数	会新長 新羽町連合町内会	健康祭	健康祭 優勝	サマーフェス	集新 い羽町合同敬老の			協新 議羽地区 会地区社会福祉	委新 員協 議地区民生児童		

新羽地区関係年表（調査中）

令和5年8月17日			体育指導・スポーツ推進委員							青少年指導員				子ども会		港北区関連				備考
西暦	和暦	年	・体育指導委員 スポーツ推進委員（期） 年数	新羽地区体育指導委員 ・スポーツ推進委員 連絡協議会会長 年数	ヘタंक大会	インディアカ大会	クラウンドゴルフ大会	少年少女スポーツ大会	青少年指導員期 年数	新羽地区青少年指導員 協議会会長 年数	飯倉炊飯大会	ミニキャンフ	年数	新羽連合子ども会 育成協議会会長 年数	区ヘタंक大会	区港北駅伝大会	区民マラソン大会	区クラウンドゴルフ大会	区ハットボールロケット大会	備考
2020	令和2年	32	64	小松賢吉	中止	26	23	中止	27	52	豊岡 修	中止	中止	---	25	36	---	34	24	新羽サマーフェスティバル、合同敬老の集い、新羽地区健民祭中止
2021	令和3年	33	65	小松賢吉	中止	27	24	中止	27	53	豊岡 修	中止	中止	---	26	37	---	35	25	新羽サマーフェスティバル、合同敬老の集い、新羽地区健民祭中止
2022	令和4年	33	66	小松賢吉	27	28	25	廃止	28	54	豊岡 修	中止	中止	---	27	38	---	36	26	新羽サマーフェスティバル、合同敬老の集い中止
2023	令和5年	34	67	大森洋一	28	29	26	---	28	55	豊岡 修	31	26	---	28	39	---	37	27	合同敬老の集い中止
2024	令和6年	34	68	大森洋一	29	30	27	---	29	56		32	27	---	29	40	---	38	28	
2025	令和7年	35	69		30	31	28	---	29	57		33	28	---	30	41		39	29	
2026	令和8年	35	70		31	32	29	---	30	58		34	29	---	31	42		40	30	
2027	令和9年	36	71		32	33	30	---	30	59		35	30	---	32	43		41	31	
2028	令和10年	36	72		33	34	31	---	31	60		36	31	---	33	44		42	32	
2029	令和11年	37	73		34	35	32	---	31	61		37	32	---	34	45		43	33	
2030	令和12年	37	74		35	36	33	---	32	62		38	33	---	35	46		44	34	
2031	令和13年	38	75		36	37	34	---	32	63		39	34	---	36	47		45	35	
2032	令和14年	38	76		37	38	35	---	33	64		40	35	---	37	48		46	36	
2033	令和15年	39	77		38	39	36	---	33	65		41	36	---	38	49		47	37	
西暦	年号	和暦	・体育指導委員 スポーツ推進委員 （期） 年数	新羽地区体育指導委員 ・スポーツ推進委員 連絡協議会会長 年数	ヘタंक大会	インディアカ大会	クラウンドゴルフ大会	少年少女スポーツ大会	青少年指導員期 年数	会長	飯倉炊飯大会	ミニキャンフ	年数	新羽連合子ども会 育成協議会会長 年数	区ヘタंक大会	区港北駅伝大会	区民マラソン	区GG大会		備考